



すずらんジャーナル

船橋市議会議員 はしもと 和子

市民相談はお気軽に 公明党控室 436-3032

希望の未来へ！あなたと市政のかけ橋に

- * 次世代を担う子ども達の為に教育環境の充実
- * 女性が主役として暮らしていける社会の構築
- * 安全安心の街づくりと生活環境の取り組み
- * 少子・高齢化社会における支援の取り組み

「笑顔で・誠実・迅速に」をモットーに、
「笑顔の庶民派NO. 1」を目指し、
「現場を歩き」「対話に動く」皆様との
ひざ詰めの対話を行ってまいります。



©NEW KOMETTO

平成24年第3回定例議会の報告をさせていただきます。

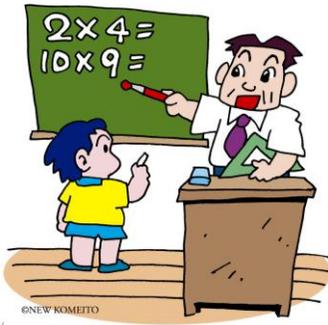


©NEW KOMETTO



©NEW KOMETTO

いじめの問題について



大津市の問題が大きく報道され、いじめに対して様々な報道がされていますので、本市における状況等伺いました。

はしもと 大津市の問題が大きく報道された直後、人権擁護委員をされている方とお話をした時に、「いじめに対して、

いじめられていい人はいない、いじめる側が100%悪いんだ」という事を、「人権教室」で力を入れていることを、教えていただきました。また、他の人権擁護委員の方にお話を伺ったところ、「いじめをいじめで返していたら、いじめはなくならない。今こそ、人権教育が大切なんだ」とおっしゃっていました。「人権教室」とはどのようなものか伺いました。

答弁 人権擁護委員協議会の協力を得て実施しており、「人権尊重の思想の基本的な考え方を理解させること」を目的として、人権擁護委員が学校訪問をし、主に小学3年生を対象として授業を行っている。



いじめが起こってしまった時は、全力で解決に向け取り組むのは当然ですが、いじめを起こさせない為にどうしたらいいのか、考えを伝えました。

現代の「いじめ」は、かつてのいじめっ子や遊び、ふざけの範疇をはるかに超えて、「いのち」に関わる問題であることが、あらためて認識されるようになりました。



ある方が次のようにおっしゃっています。

『一人の「命」は、全宇宙の財宝にも勝ります。この「命」を最大に光り輝かせていく営みこそ、教育であります。

軽んじられてよい「命」など一人としてありません。この「命」を踏みにじる権利など、誰人にもありません。「暴力は断じて否定する」「いじめという暴力を絶対に許さない」このことを教えることこそ、教育の出発でなければならいでしょう。「いじめ問題」がなくなるのは、「すべての大人の責任」です。なぜなら、子どもたちは大人の鏡だからです。大人社会の歪みが、元凶だからです。子どもたちを「いじめ」へと突き動かす心の闇に、今こそ光を送らねばなりません。教育は「対話」により出発し「対話」に帰着するといってもよいでしょう。常日頃から、声をかけ、子どもたちが発するサインや変化、言葉にならないSOSを鋭敏にキャッチしていく。こうした心の交流が、ますます大事になってきているのではないのでしょうか。』



学校はもとより、家庭にも、地域にも、子どもたちを見守る、大人たちの温かく深い眼差しが、これまでもまして必要になっています。私たち一人一人が今できること、温かい言葉で、対話をし、誰人も、いじめてはならないし、いじめさせてもなら



ないこと。一人一人を大切に生きていくべき事を、あらためて、子どもたちと一緒に学んでいきたいと思ひます。

議案質疑と補正予算を審議

子ども医療費は、大勢の方から要望のあった、小学校4～6年生の償還払いが、12月より現物支給になり、あわせて中学3年までの入院も現物給付になります。通院については、来年度に向け、検討中です。

ポリオの生ワクチンは、100万人に1.4人の割合でまひが
できるため、保護者らから不活化ワクチンの導入が求められ
ていました。こうした声を受け、公明党が早期承認を訴え
てきたところ、9月1日から、安全性の高い不活化ワクチンに全面
移行することになりました。11月から「4種混合」の接種が始まります。



防災については、避難所の備蓄整備を公民館にも行い、
受水槽給水栓設置で、水の確保をすることになりました。

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

はしもと 和子 090-5574-9079

〒273-0853 船橋市金杉5-26-29

ブログ kako.blog.ocn.ne.jp